

《最近の県内経済》 (2025年5月を中心として)

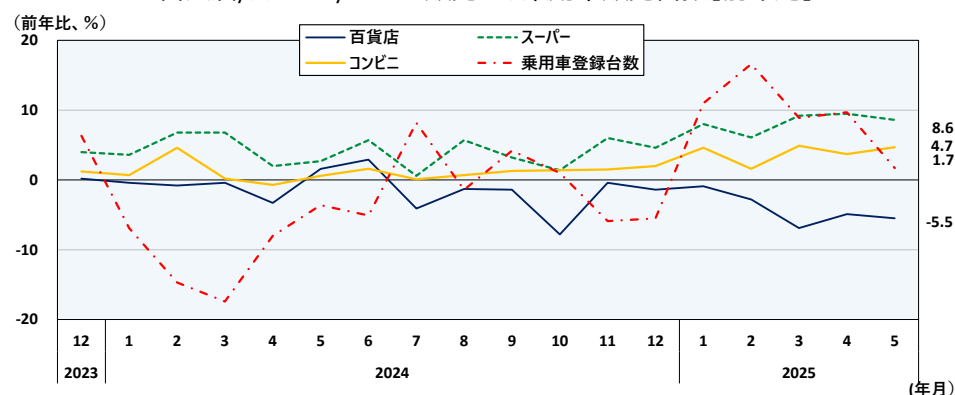
今月の概要

緩やかに持ち直している



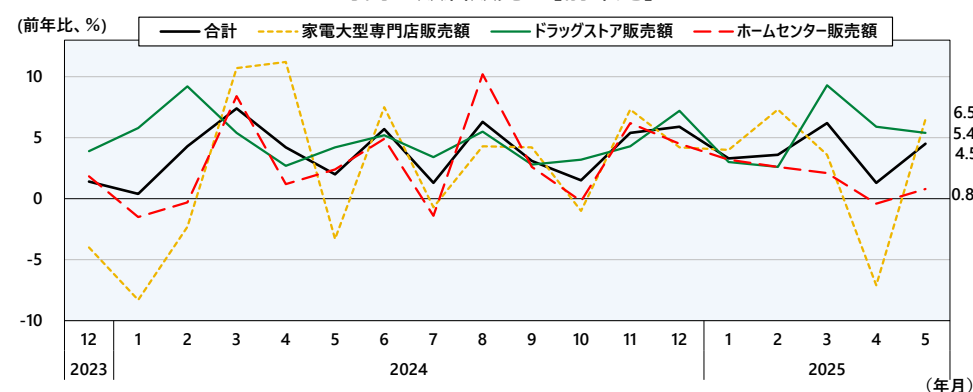
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

5月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は115億円で前年比5.5%減（11か月連続の減少）、スーパーは1,153億円で同8.6%増加した（32か月連続の増加）。また、コンビニ販売は600億円で同4.7%増加した（13か月連続の増加）。

食料品を中心とした価格上昇によって客単価が上昇しており、売上増加に寄与した。

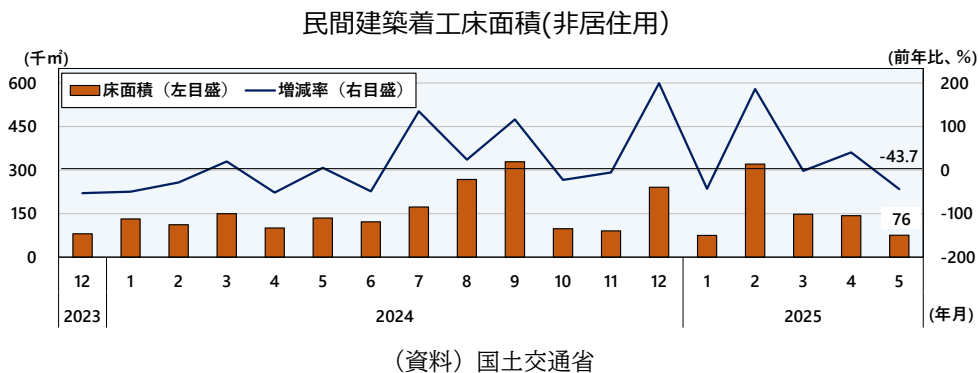
また、乗用車販売は、前年比1.7%増と5か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同10.7%減（2か月連続の減少）、小型車が同11.0%増（5か月連続の増加）、軽自動車が同14.0%増（5か月連続の増加）となった。前年の検査不正に起因する反動増の影響が薄れ、全体としては増加幅が縮小した。

5月の専門量販店販売額は827億円で前年比4.5%増と32か月連続で増加した。内訳をみると家電大型専門店が179億円で同6.5%増（2か月ぶりの増加）、ドラッグストアが448億円で同5.4%増（36か月連続の増加）、ホームセンターが199億円で同0.8%増加した（2か月ぶりの増加）。

家電大型専門店では、気温上昇が早い影響でエアコン売上が好調であり、パソコンや携帯電話といった情報機器も増加を続けている。他方、生活家電は単価が上昇するも台数は伸び悩んでいる。ドラッグストアは、医薬品、食品等の売上が増加した。ホームセンターでは、オフィス・カルチャー、電気、家庭用品・日用品などの売上が増加した。

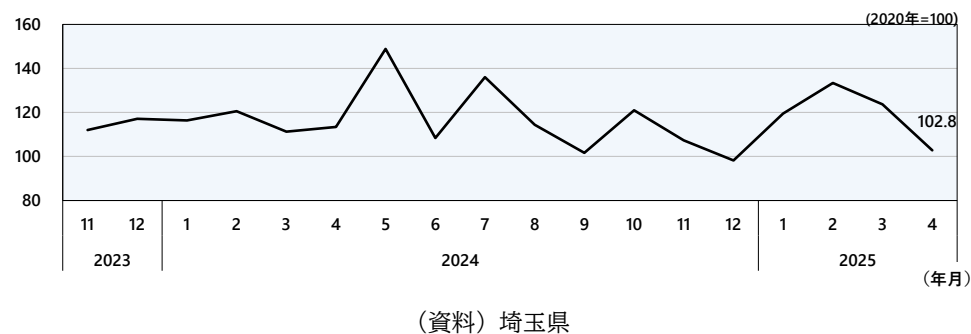
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、4月〈32.4〉、5月〈33.6〉、6月〈35.3〉と推移している。

2 設備投資 ～持ち直している ➡



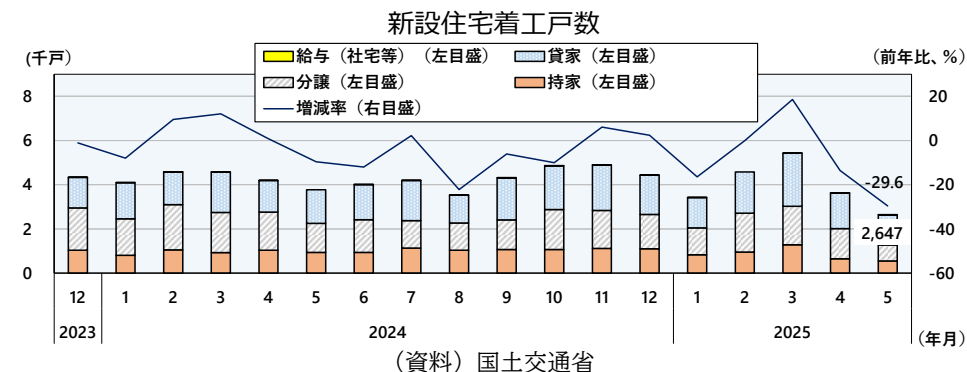
5月の民間建築着工床面積(非居住用)は、76千㎡で前年比43.7%減少した(5か月後方移動平均では、前年比21.0%増加)。用途別にみると、店舗、工場及び作業場、学校の校舎は増加したものの、事務所、倉庫は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



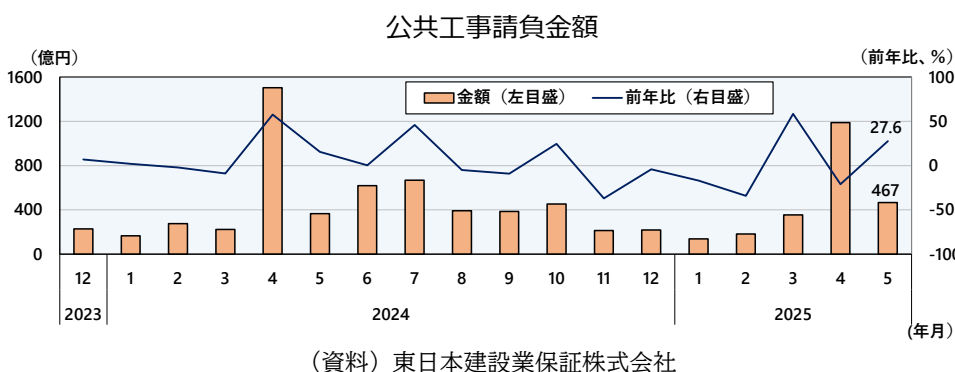
4月の資本財出荷指数(季節調整済)は102.8で、前月比17.2%減少した(5か月後方移動平均では、前年比0.4%減少)。

3 住宅建設 ～弱含んでいる ➡



5月の新設住宅着工戸数は、2,647戸で前年比29.6%減少した(5か月後方移動平均でも7.2%減)。利用関係別にみると、持家(555戸)が同39.9%減、貸家(1,359戸)が同10.7%減、分譲マンション(63戸)が同62.9%減、分譲一戸建て(659戸)が同41.5%減少した。

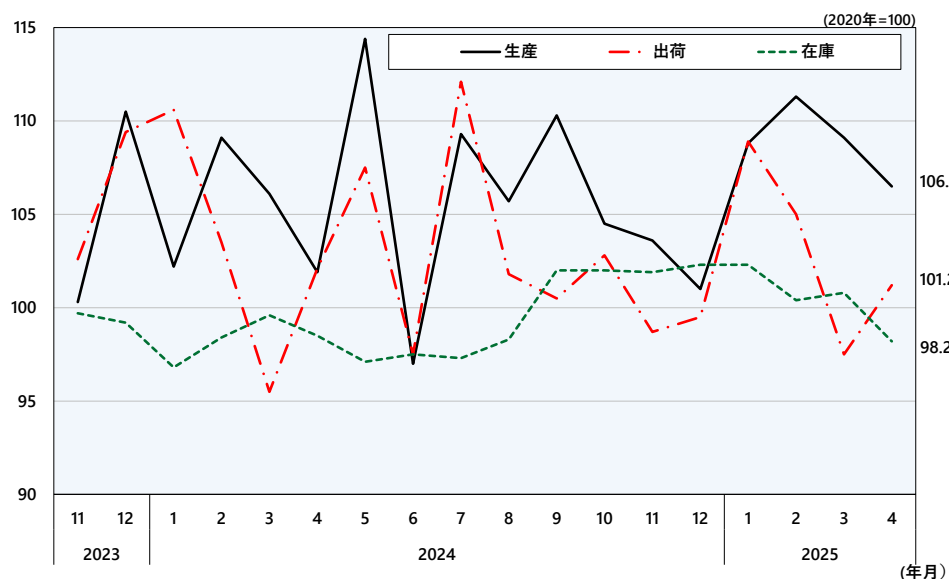
4 公共工事 ～底堅く推移している ➡



5月の公共工事請負額は467億円、前年比27.6%増加した。5か月後方移動平均では前年比8.1%減で推移。発注者別の前年比をみると、独立行政法人等、地方公社は減少したものの、国、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ～一進一退 ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



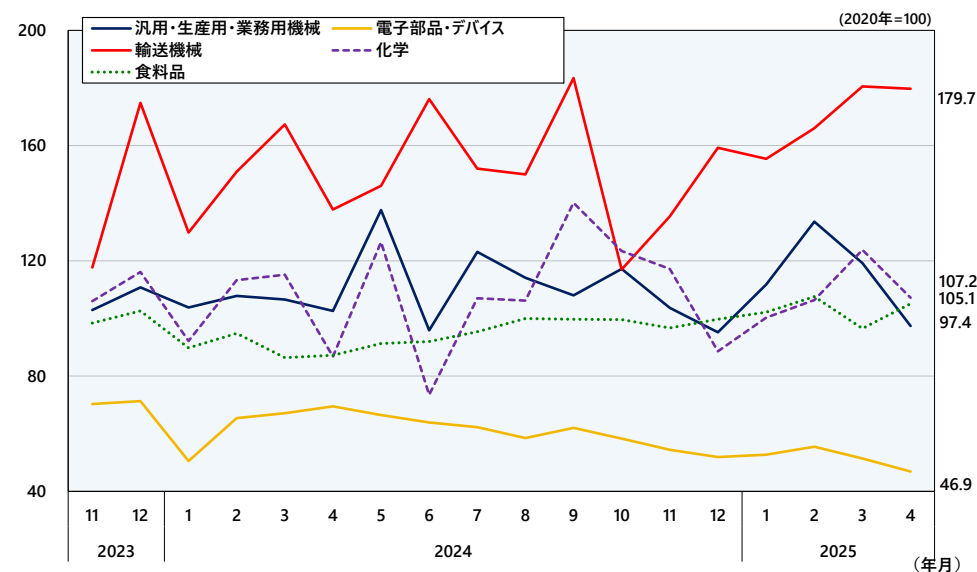
(資料) 埼玉県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、106.5で前月比2.4%低下した。食料品(チョコレート類、アイスクリーム)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇したが、化学(医薬品、印刷インキ)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、101.2で同3.8%上昇した。生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、情報通信機械(搬送装置、ガス警報器)が低下したが、化学(医薬品、化粧品)、食料品(炭酸飲料、アイスクリーム)などが上昇した。

在庫指数(同)は、98.2で同2.6%低下した。鉄鋼(普通鋼小形棒鋼、特殊鋼冷間圧造用炭素鋼線)、汎用機械(ポンプ)などが上昇したが、電気機械(電気計器、鉛蓄電池)、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)などが低下した。

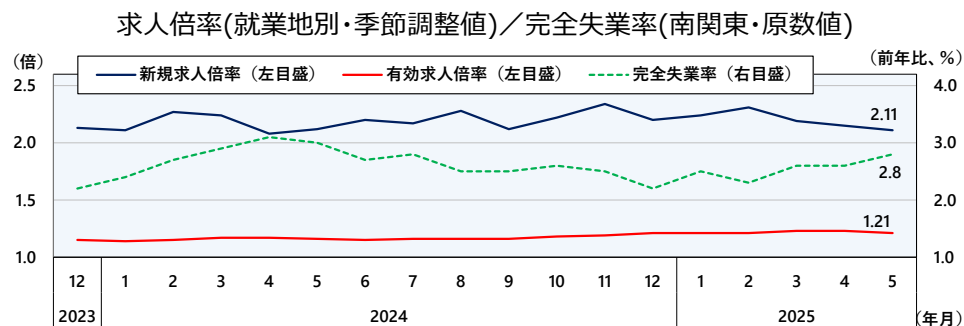
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、97.4で前月比18.2%低下し、2か月連続で低下した。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、46.9で同7.1%低下し、2か月連続で低下した。
- ◆ 輸送機械(同)は、179.7で同4.2%上昇し、2か月連続で上昇した。
- ◆ 化学(同)は、107.2で同13.4%低下し、2か月ぶりに低下した。
- ◆ 食料品(同)は、105.1で同10.4%上昇し、2か月ぶりに上昇した。

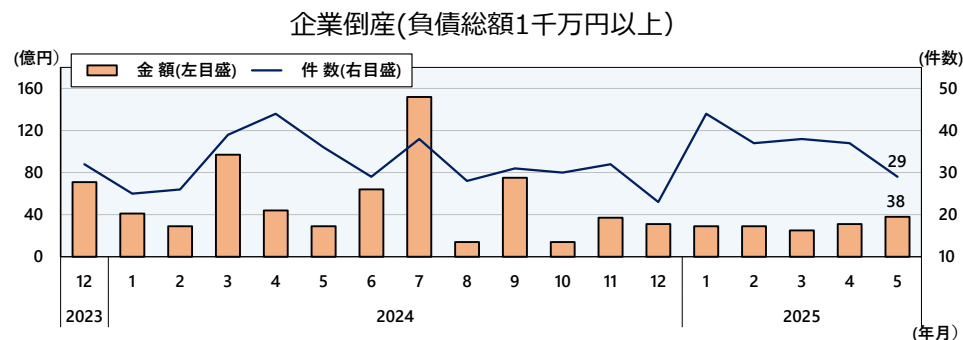
6 雇用情勢～緩やかに持ち直している ➡



(資料) 厚生労働省、総務省

5月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.21倍で前月比0.02ポイント下落した。新規求人倍率(同)は、2.11倍で同比0.04ポイント下落した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.2%低下した(前年同月比4か月連続の低下)。

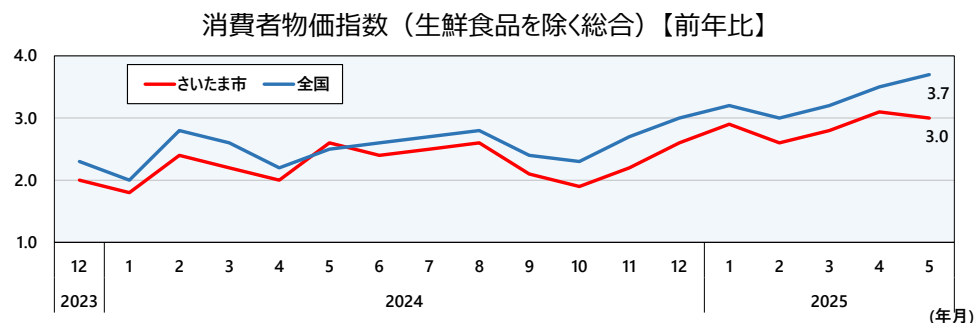
7 企業倒産～緩やかな増加基調にある ➡



(資料) 帝国データバンク

5月の企業倒産件数は29件で前年同月比7件減少した。また、負債総額は38億円で同比9億円増加した(5か月移動平均では、件数は前年比3件増加、負債総額は同18億円の減少)。
業種別にみると、建設業が最多で8件、次いでサービス業が7件、製造業が6件となっている。主因別では、販売不振が26件となっている。

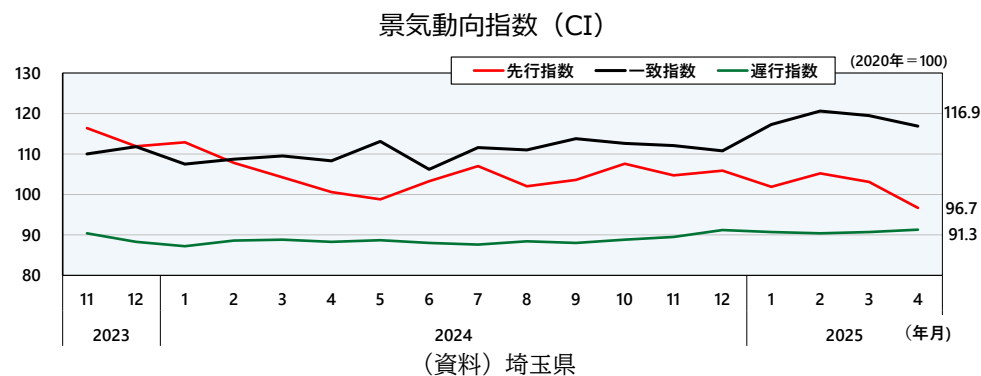
8 消費者物価～緩やかに上昇している ➡



(資料) 総務省

5月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.1で前年同月比3.0%上昇した(44か月連続の前年同月上昇)。
食料(穀類)、光熱・水道(電気代)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～上方への局面変化を示している



- ・4月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、116.9で前月比2.5ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、96.7で同4.5ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.3で同0.5ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。